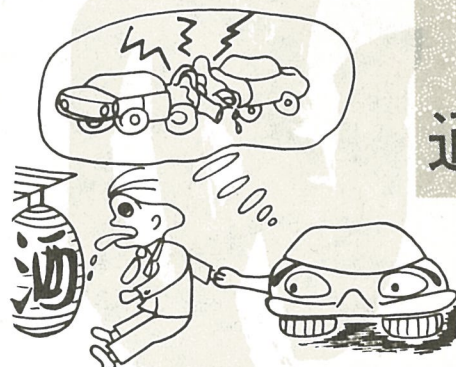


交 通

交通事故・火災を防ぐために



その一杯が事故につながる

十一月十七日現在、八日市場警察署管内（八日市場市、光町、野栄町）での交通事故は昨年同期より件数三十件増（25、4%増）、死者二名増（25%増）、負傷者二十三名増（12、7%増）であり、いずれの部門でも県下最高の増加率を示しています。

◎事故の特徴

①、路線別では、国道一二六号線、県道横芝停車場白

②、時間帯では、朝の七時から八時、昼の一時から二時、夕方五時から七時で全体の四割強を占め、深夜、早朝には大きな事故が発生しています。

③、類型別では、車同士の事故は全体の50%であり、交差点での出合頭の衝突、追突事故が多い。車と歩行者の事故は全体の30%で、運転者側のスピード出し過ぎや脇見運転と、歩行者側の車の直前横断や飛び出しが多い。

④、運転者の年齢別では、三十才未満が全体の50%強で、若い人が無理な運転をしていることがわかります。

⑤、被害者年齢別では、全体の20

浜線、飯岡片貝線、飯岡一宮線で増加の大半を占めていますが、最近では八日市場野栄線で死亡事故や大きな事故が増加しています。

②、時間帯では、朝の七時から八時、昼の一時から二時、夕方五時から七時で全体の四割強を占め、深夜、早朝には大きな事故が発生しています。

③、類型別では、車同士の事故は全体の50%であり、交差点での出合頭の衝突、追突事故が多い。車と歩行者の事故は全体の30%で、運転者側のスピード出し過ぎや脇見運転と、歩行者側の車の直前横断や飛び出しが多い。

④、運転者の年齢別では、三十才未満が全体の50%強で、若い人が無理な運転をしていることがわかります。

⑤、被害者年齢別では、全体の20

%が六才以下の幼児と六十才以上の老人であり、そのうち六名が死亡しており、死亡率の高いことを示しています。

運転者の住所別では、管内の人が53、6%、隣接市町村の人が32、8%で、交通事情にあかるい人が全体の86、4%という高率になっています。

◎皆さんに身につけていただきたい交通安全

- 一、道を歩くとき
- ①、車の直前直後の横断はやめましょう。
- ②、酒に酔って道路をふらつかないようにしましょう。
- ③、子どもを道路で遊ばせないようにしよう。
- ④、幼児は付添をつけ、ひとり歩きはさせないようにしよう。
- 二、自転車に乗るとき
- ①、左側一列通行をしよう。
- ②、重い荷物を積み、または酒を飲みふらふらする状態で乗るのはやめよう。
- ③、夜間自転車での外出はひかえもし乗る場合はライトと反射テープをつけよう。
- 三、自動車を運転するとき
- ①、飲酒運転は絶対にやめよう。
- ②、無理な追越しはやめよう。
- ③、老人、子どもを見たり、あぶ

●老人・子どもの外出の際には事故防止のひとこえをかけよう

ないと思ったら早目にブレーキをかけよう。

④、二輪車を運転するときはヘルメットをかぶり、二人乗りはやめよう。

四、その他

火 災



暖房器具を扱うのは慎重に

- ①、違法駐車をやめ道路を広くしましょう。
- ②、車を運転してきた人には酒を飲ませないようにしよう。
- ③、飲酒運転車両に乗らないようにしよう。

です。すいかけのタバコを不注意に捨てるのは危険です。

二、ガス器具などのガスもれがないかどうか、また、必ず点火・消火の確認をすること。

三、暖房器具の具合がおかしいと思ったら、専門の人にみてもらうことが大切です。また、カーテンなどの燃えやすいものの近くで暖房器具を扱うのは火事のもとです。

冬は火を使う機会が多いため、火災の多いシーズンです。一瞬にして尊い生命と財産を奪いさる恐ろしい火災も、ひとりひとりの注意によって防ぐことができます。

家庭、職場などでは火を出さないよう防火という立場で十分点検するとともに、万一の出火にそなえて、みんなでその対策を考えておきましょう。

一、火災原因の第一は「タバコ」

五、火事は早く消すことが勝負です。風呂場にいつも水をはっておくこと、消火器の使い方を研究しておくなど、初期消火で被害を最小限に食い止めましょう。

●生活の一部にしよう火の点検